

ぎ かい の 柱

NO.73 令和4年3月31日号

3月定例会などの内容をお伝えします。



CONTENTS

[特集] みんなの声	P2~3
3月定例会	P4~5
常任委員会審査報告	P6~7
会派代表質問	P8~9
一般質問	P10~12
第1回臨時会	P13
議会の動き	P14

特集 みんなの声

保育教諭 × 市議会



小塚 光子 園長

特集 みんなの声

～子育て環境を考える～

保育教諭 × 市議会

令和3年12月22日に『幼保連携型認定こども園しゃろーむ』へ取材に行ってきました。

子どもを取り巻く環境がどんどん変化している中で、子どもの「育ち」に関わることへのやりがいや苦悩等を聞いてきました。

櫻田 京子 副園長



藤嶋 匡祥 総主任



幼保連携型認定こども園とは

幼稚園機能と保育所機能の両方を併せ持つ単一の施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っており、職員は幼稚園教諭と保育士資格が必要です。

◆しゃろーむは市内で唯一の

幼保連携型認定こども園

「幼保連携型認定しゃろーむ」は、2015年に認定こども園から幼保連携型認定こども園として認定されました。

0号と言われる未入園児を支援する「地域子育て支援センター」も併設し、地域における子育て支援も行っています。

【認定の区分】

- 1号…3歳以上の幼稚園部
- 2号…3歳以上の保育園部
- 3号…0・1・2歳の保育園部

子どもたちの将来のため

「生きる力」を育む保育

議員 現在、しゃろーむには何人の子どもたちがいますか。

藤嶋 現在は126人です。(0

歳15人、1歳18人、2歳18人、

3歳19人、4歳25人、5歳31人、

家族の転勤等で毎月増減あり)

議員 子どもたちを保育及び教育

していく上での園の特徴は。

小塚 人々と共に生きる中で互い

に影響を受け合い、助け合い、

愛と自由と希望に生きる人間と

して新しい世界を想像する力を

育むことを目的としています。

愛着形成・主体性・食を重要視し、

特に家族団らんの食事こそ「子

育て」の原点と捉えています。

議員 おやつも手作りなんです

ね。櫻田 そうです。約10時

間、園で過ごすお子さ

んが大方です。午後

のおやつには配慮して

います。また、保護者

から園の給食レシピを

希望され、その提供が

喜ばれています。さ

やかな保護者支援の一環



議員 保育料等に関する補助制度については、どのように感じていますか。

小塚 保育料の無償化は3歳児以上ですが、未満児も無償になることを期待します。特に未満児の保育料は高額です。副食費に

関しては、県と市の補助制度が

利用できていますが、秋田県全

体を見ますと格差があります。

議員 ほかに市にのぞむことは。

小塚 子どもへの幼児教育・保育

の影響は社会全体に及ぶと

いう発想が必要だと思えます。

少子化と併せ、過疎化が進む地

域だからこそ法人連携

を含めた子育て支援機

関のネットワーク「地

域における子育ての社

会支援システム」の構

築が喫緊の課題だと考

えます。また、地域を

活かした移住定住と子

育ての関連付けにも期

待します。

変化する子育て環境

求められる人材確保

議員 職員は何人いますか。

藤嶋 43人です。北秋田市全域と、

大館市や能代市、上小阿仁村から来てくれていて、前向きで明るく頑張れる職員集団です。

議員 1日のスケジュールは。

櫻田 月曜から土曜まで午前7時から午後7時が保育時間になります。0歳

児は突然死症候群防止のため5分ごとの睡眠チェックを実施し、発汗による着替え、排泄



介助、清潔面を含め家庭生活の延長として関わります。延長保育や預かり保育、配慮を要する子の支援やアレルギー対応、保育教諭のほか、栄養士、保健師、看護師、社会福祉主事等、異職種連携で保護者支援や園内研修、保護者を交えてのケース会議など一日のスケジュールの中に様々あります。

議員 一般的な会社ですと60分程度の休憩時間があると思いますが、お昼ご飯のタイミングは。

櫻田 3歳児以上は食事を楽しめるよう指導の一環として子どもたちと一緒に食べますが、未満児は、一人一人違い個別支援です。結果、お昼寝の時間に昼食となります。休憩はチームクラスとして、個々の実情に合わせてとっています。

議員 職員の休暇等はどうなっていますか。

藤嶋 子育て中の職員は有給休暇が多くありませんので、未就学児一人につき10日間の「子の看護休暇」を感染症や入院等で活用したり、家族介護休暇も使い、できるだけ有給休暇は自身の休養や余暇に使ってほしいと思います。休暇は取りやすいよう、職員同士が「お互い様」を認識し合っています。
※小学校就学前の子どもを育てる労働者が利用できる、育児・介護休業法に定める法定休暇

議員 保育士をしていて課題と思うところは。



小塚 賃金の問題は大きいです。教職と呼ばれる方たちとの差は著しいです。また、職員配置基準に厳しさを感じます。0歳が

3対1、1歳児が6対1、2歳児が6対1、3歳児が20対1、4歳児が30対1、5歳児が30対1となっており、この配置は長時間保育にはきつく、職員の負担軽減のために配置を濃くしていますので、制度の見直しが必要だと思います。

櫻田 少子化で園児数減に併せ職員も減と思われがちですが、子育て環境が変化する中で質の高い保育が求められ、それに合わせた人材確保と育成が重要です。感染症発症の多い乳幼児期、コロナ感染症拡大防止等、看護師ならではの視点と環境整備、医療との連携が現場には必須です。

議員 最後にこのお仕事のやりがいをお聞かせください。

小塚 子どもたちの日々の成長に喜びと嬉しさを覚えます。この子たちを明日も見たい！明日も会いたい！まだお話しができないお子さ

んたちの笑顔と全身で喜びを表す姿に心の声が響いた瞬間、抱きしめてしまいます。子どもの「生きる力」「脳力のすごさ」に感動も覚えます。子どもからの学びは毎日です。自立に向けた人間の基礎作りに保護者の皆様と共に育む喜び、成長について話したり、頼られたりとやりがいを感じています。子どもたちの発達が遊びを通して教育・療育・保育の観点から見私たちの姿を見て保育士を目指してくれる人々を歓迎します。

～取材を終えて～

この特集の第1回目の時に「将来は、しゃろーむの保育士として働きたい」と言っていた高校生がいました。子どもたちに夢を与え、育ちに対しての影響力が大きく、とても尊い仕事である保育士の皆さんに心から感謝と敬意を表します。今後、特に重要視すべき分野に携わる保育士や保育現場への支援・充実は、国県市町村としっかりと共有・連携をとり「質の高い保育」に取り組んでいける体制をとっていかねばならないと感じました。



起立採決（議案第23号 令和4年度北秋田市一般会計予算）

令和4年度 一般会計予算 222億7026万8千円



令和4年度一般会計予算の主な事業	予算額
路線バスフリーパス助成金	3,766千円
子育てサポートハウス「わんぱあく」改築工事	104,478千円
新型コロナワクチン接種事業	50,999千円
森林環境譲与税事業	56,062千円
住宅リフォーム支援事業補助金	40,000千円
伊勢堂岱遺跡プロモーション事業	5,356千円
消防森吉・合川統合分署建設事業	491,189千円
救急自動車更新事業	38,100千円
市有スクールバス運行管理委託	65,048千円
スクールバス更新	19,640千円
阿仁地区義務教育学校（仮称）改修工事	13,791千円
感染症再拡大に伴う飲食・宿泊事業者緊急支援事業	38,649千円
北秋田市冬期生活確保及び雪下ろし等事業	10,750千円

令和4年 3月定例会

令和4年北秋田市議会3月定例会は、2月9日から2月25日までの17日間の会期で行われました。
今定例会では条例案10件、予算案31件、その他議案等2件のほか、最終日に追加提案された予算案1件、人事案件3件及び発議案1件が審議され、すべての案件が可決、同意されました。

3月定例会の主な議事

- 北秋田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 米代流域衛生センター解体撤去事業基金条例を廃止する条例の制定について
- 北秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市打当温泉マタギの湯条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市農業者健康管理施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市消防団員の退職に係る家族慰労金の支給に関する条例を廃止する条例の制定について
- 義務教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 令和3年度一般会計補正予算
- 令和3年度各特別会計補正予算
- 令和4年度一般会計予算
- 令和4年度各特別会計予算

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥 ※議長は採決に加わりません。

議案名	【令和4年3月定例会／令和4年2月25日採決】		
	議案第12号 令和3年度一般会計補正 予算(第10号)	議案第23号 令和4年度一般会計予算	議案第40号 令和4年度病院事業会計 予算
採決結果	可決	可決	可決
新創会	佐藤 重光	○	○
	虻川 敬	○	○
	杉淵 一弘	○	○
	佐藤 文信	○	○
	永井 昌孝	○	○
みらい	中嶋 洋子	○	○
	佐藤 光子	○	○
	黒澤 芳彦	—	—
緑風・公明	堀部 壽	○	○
	小笠原 寿	○	○
	武田 浩人	○	○
	関口 正則	○	○
日本共産党 議員団	板垣 淳	●	●
	三浦 倫美	●	●
	久留嶋 範子	●	●
無党派	山田 博康	○	○
	福岡 由巳	●	●
	長崎 克彦	▼	▼

最後の定例会

黒澤議長があいさつ

今議会が議員の任期満了の最後の定例会であることから、議事日程終了後、黒澤議長は「本定例会の17日間、議員各位並びに市長はじめ当局職員の皆様のご協力に敬意と感謝を申し上げる。平成30年4月17日の初議会において議長に就任以来、皆様のご協力をいただきながら一生懸命職務を遂行してきた。これまでご支援いただいた同僚議員、当局職員、市民の皆様には心からお礼を申し上げます」などと述べ、閉会しました。

賛成・反対討論

▼議案第12号

反対討論 板垣 淳 議員

森吉山荘の運営継続をいったん議決したのに、やっぱりやめると言う予算。認められない。決めるときも賛成、やめるときも賛成、なんでも追認する議会でいいのか。

賛成討論 小笠原 寿 議員

小中学校の新型コロナウイルス感染症予防対策費や県からの灯油購入費緊急助成事業補助金など、歳入・歳出には重要な事項が盛り込まれており停滞感なく速やかに承認すべき。

▼議案第23号

反対討論 板垣 淳 議員

①森吉山荘の休止で観光と地域をダメにし、②補助金カットで各団体の活動を弱らせ、③道の駅たかのすに14億円投入でまた借金増と市財政悪化。こんな予算は認められない。

賛成討論 虻川 敬 議員

第2次北秋田市総合計画後期基本計画や第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略が具体化され将来都市像である住民が主役の杜のまちの充実を目指す予算となっている。

反対討論 福岡 由巳 議員

市民への十分な説明をせず補助金の一律一割削減は許されない。財政が厳しいならば市民病院負担金7億円余りの歳出は高すぎる。協定を基に戻せば逆に約1億円の歳入になる。

▼議案第40号

反対討論 久留嶋 範子 議員

市民にとって大切な病院だが、市の持ち出しは減らすべき。厳しい財政の中で厚生連との協議内容を見直し、是正すべき。圏外への患者流出で、常勤医の確保が喫緊の課題。

賛成討論 杉淵 一弘 議員

新型コロナウイルス感染拡大の収束に目途が立たない中、市民病院は医師充足率が137.3%である。また、計画では年間患者数を前年の1.5倍とし、経営改善を目指している。

反対討論 福岡 由巳 議員

開院13年目、非常勤医師は増えても患者は増えていない。患者の圏域外流出60%を食い止め、第2次医療圏の役割を果たすには、常勤医師大幅増員と大胆な改革が必要である。

人事案件

教育委員会委員の任命

〈再任〉藤本 基子氏（浦田）

固定資産評価審査委員会委員の選任

〈再任〉赤石 利法氏（米内沢）

〈新任〉柴田 明弘氏（阿仁戸鳥内）

人権擁護委員候補者の推薦

〈再任〉福岡 史恵氏（三里）

〈再任〉佐藤 ムツ子氏（七日市）

〈新任〉佐藤 洋子氏（材木町）

〔委員長〕武田浩人 〔副委員長〕山田博康
〔委員〕三浦倫美／小笠原 寿／佐藤光子／佐藤重光

総務文教常任委員会

新たなプロモーション事業に期待

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案14件、単行議案2件の計19件でした。

令和4年度一般会計予算については、防災マップについて委員から「ウェブ版はどうなったのか。昨年の説明時に令和4年から保守費が計上されるという説明であったが」との質疑に、当局からは「ウェブ版は作成中で、保守費等は地図等が変われば計上される」との答弁がありました。

プロモーション事業について委員から「ハローキティを使った事業が終わり、新たに考えていることはあるのか」との質疑に、当局からは「新たなプロモーションは、ふるさと大使の活用と、移住定住では動画を活用していきたい」との答弁がありました。

市有スクールバス運行管理委託について委員から「学校行事等で使用しているが、委託にしても使えるのか」との質疑に、当局からは「今までと同様に活用できるが学校の

意見を聞きながら、どの行事に使用するかを決めることになる」との答弁がありました。

補助金の減額は実態に 合わせ慎重に判断

生涯学習課に関わる補助金の減額について委員から「関係団体に確認して減額したのか。また、運営に関わる団体の減額は慎重に行わなければならないが、考慮したのか」との質疑に、当局からは「関係団体への確認は、運営に関わる団体を含めて、予算編成時に丁寧な説明を行っている」との答弁がありました。

採決では、反対の立場から「補助金について、実態に合わせた増減を図るべきであり一律1割削減の方向で進められたことには賛成できない」との討論がありました。

以上のような審査を踏まえ、賛成多数で、その他は全会一致で可決すべきものと決しました。

（委員長 武田浩人）

〔委員長〕佐藤文信 〔副委員長〕中嶋洋子
〔委員〕杉渕一弘／福岡由巳／久留嶋範子／関口正則

市民福祉常任委員会

消防団員確保に向けて処遇改善

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案17件の計22件でした。

北秋田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について「団員の年額報酬値上げの根拠と出勤報酬における改正の内容は」との質疑があり、当局からは「報酬は国の交付税単価を参考にし

て定め、出勤報酬は4時間未満4千円、4時間以上8千円に分けた。深夜の割り増しについては、今回は考えていない」との答弁がありました。

令和4年度一般会計予算では、委員から「コロナワクチンの集団接種の体制は」との質疑があり、当局からは「接種の前倒しにより、今後は各会場の定員を増やして時間も延長し、65歳以上については3月中に接種できる体制で進める」との答弁がありました。

また、無線運動型住宅用火災報知器設置補助金について、委員から「機能と補助内

医師確保にドクター バンクを活用

令和4年度病院事業会計予算では、委員から「患者の圏域外流出が問題となっている。2次医療圏としての方向性について議論されているか」との質疑があり、当局は「医師確保には県のドクターバンク等の活用やリハビリスタッフの増員、予約制の推進やワイフアイ環境の整備を計画している」と答弁。討論では「常勤医師の確保を求め反対する」との討論がありました。

令和4年度一般会計と病院会計は賛成多数、そのほかは全会一致で可決すべきものと決しました。

3つの常任委員会

【委員長】堀部 壽 【副委員長】虻川 敬
【委員】永井昌孝／長崎克彦／板垣 淳／黒澤芳彦

産業建設常任委員会

令和3年度補正予算所管分否決

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案4件の計6件でした。

令和3年度一般会計補正予算の商工観光課の債務負担行為補正「森吉山荘指定管理料の廃止」について、委員から「指定管理者を見つける努力はされたのか」との質疑があり、当局からは「公募であることから自分たちで見つけることはできないが、以前に指定管理をしていた方から聞き取りし、指定管理の期間や管理料の見直しを図ったほか、お湯に関する調査も実施した」との答弁がありました。

審査をした結果、反対の立場から「森吉山荘を継続して営業してもらいたいのので補正予算に反対する」との討論があり、採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決しました。

令和4年度一般会計予算所管分は可否同数

令和4年度一般会計の森吉山荘関連予算について、委員から「不動産鑑定をする理由は」との質疑があり、当局から「民間譲渡の場合の参考にするため、建物と土地を鑑定する」との答弁がありました。

また、『道の駅たかのす』の基本設計業務委託の減額について、委員から「基本設計が来年度に先延ばしになったが、オープンは当初の予定どおりか」との質疑があり、当局からは「時間を掛けても良いものを造りたいと考えているのでオープンは、後ろにずれ込むことになる」との答弁がありました。以上のような

閉会中の所管事務調査・委員長報告（抜粋）

総務文教常任委員会

1月24日に『義務教育学校について』と『スクールバスの運行について』の調査を実施しました。

令和5年4月の開校を目指している阿仁義務教育学校の現時点の概要について、当局から説明があり、今後の対応等について質疑をしました。

スクールバスの運行については、学校統合による台数の増加、運転手の確保、車両管理に必要な技術、アルコール検査義務化への対応等により旅客運行业務を行う民間事業者等に令和4年度から三年間契約する予定であると当局から説明があり、疑問点等について調査しました。

（文責者：副委員長 山田博康）

市民福祉常任委員会

1月13日に『障害児通園（デイサービス）施設について』の調査を実施しました。

「もろびこども園」は、障がいのある児童に対して、日常生活に必要な指導及び訓練を行うことにより児童の育成を助長することを目的に設置。指定管理者は社会福祉法人県北報公会で、事業内容は児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等です。

施設の移転に伴い、児童館であった建物を障がいのある児童が利用しやすいように、福祉サービスが実施できるよう改修工事を行い12月1日に開所。利用者から喜ばれているとの説明を受けました。

（文責者：副委員長 中嶋洋子）

産業建設常任委員会

1月19日に『観光事業について』の調査を実施しました。

今年度で4回目を迎える樹氷サミットについては、事業内容と当事業がもたらす効果について説明を受け、市内観光客数・宿泊客数の実績については、今年度、県の冬割キャンペーンや市のおもてなし宿泊事業などの効果もあり、昨年度よりも宿泊実績はやや多いとの報告がありました。森吉山荘については、柚温泉から供給されるお湯が必要量確保できない現状と建物の老朽化を理由に、今後は指定管理者を募集せずに令和4年4月から休館し、民間への売却を検討するとの説明を受けました。

（文責者：副委員長 虻川 敬）

緑風・公明



小笠原 寿



QRコード

森林環境譲与税を
利用した状況は

Q 行財政改革の一環として、より効率的な職員の適切な配置と柔軟な対応が必要と思うが市長の考えは。

A 業務調整や業務工程の見直しを行いながら、職場環境の改善を図り、事務事業量に応じた人員配置に努めていきたい。

Q 社会貢献、新事業展開、税軽減効果のメリットがあるとされる企業版ふるさと納税だが、北秋田市として、どのような特徴のある呼びかけを行うのか。

A これまでの企業誘致活動で築いてきたご縁のある企業や新たな企業へのPRに加え、市ホームページに企業版ふるさと納税に関するページを設けたほか、首都圏ふるさと会や秋田県企業懇談会等でPRしていきたい。

希望と誇りを持ち、安全安心に暮らし続けられるまちづくりを目指します

北秋田市
企業版ふるさと納税



市の「企業版ふるさと納税」のチラシ

Q 森林環境譲与税を利用した事業について進捗率はどのようになっているか。また、私有林に対して各地区ごとの森林管理システムへのアンケート状況は。

A 事業ベースで約20%を関連事業で活用し、令和4年度までの4年間で約45%の執行見通しである。アンケート調査の回答状況は市内を21区域に分割して現在3地区で実施し、約35%の方が経営管理権設定を希望。

Q 七日市松沢線と大畑葛黒線の改良補修や林道奥見内線の拡幅舗装が必要と思うが考えは。

A 輸送量増を予測し、舗装修繕、一部拡幅を予定している。

会派代表質問・・・3人以上の会派の代表が行う、市長の市政方針に対しての質問です。

一定の議員数を有する会派ごとに調整して質問することで、重複する質問を減らし、円滑かつ効率的な議事運営を図るために採用しています。

みらい



中嶋 洋子



QRコード

健全な財政運営と
機構改革に期待

Q 新年度に市が最も力を入れて取り組むことは。

A 現下最大の課題は、新型コロナウイルス感染症対策と少子化対策。地域経済の再生に向け、消費喚起策を躊躇なく打ち出していく。少子化対策は安心して子育てできる環境整備を進めていく。

Q 健全財政を維持する取組は。

A 歳出を見直し、新年度から市単独の補助金を10%削減した。今後一律で1割カットする予定。

Q こども政策を統括する部署の創設時期は。また、ほかにも機構改革を行う予定はあるか。

A 令和5年度の創設を考えている。その他の機構改革については、伊勢堂岱遺跡の世界文化遺産登録を受け、4年度の遺跡所管部署の設置に向けて検討中。



伊勢堂岱遺跡の新部署配置

Q PCR検査所の開設予定は。

A 市内1薬局が抗原検査機関を開設予定だが、抗原検査キット不足により、開始が延期になっている。

Q 遺族支援コーナーの設置は。

A 身近な人が亡くなった後の市役所での手続き負担軽減のため、手続きをワンストップ化する窓口を5月上旬に開設予定。

Q 交通インフラを活用し地方創生を推進した結果と方向性は。

A 移住定住者の増加や企業誘致に効果が表れている。観光振興とリモートワークやワーケーションを推進し、地域の活性化と経済の再生を図っていく。

日本共産党議員団



板垣 淳



QRコード

国保税の引き下げを

Q コロナワクチン接種は可能な限り前倒しを。PCR検査の実施を。

A ワクチン接種は現在実施中で今後、前倒しして行いたい。PCR検査は市内1薬局が開設予定。

Q コロナ経済対策は国の事業だけでなく、市独自に思い切った施策を。

A 支援策を今議会に追加提案する。

Q 市は、まん延防止重点地域への往来自粛を呼びかけ、一方で飛行機と夜行バスには助成金をつけて乗車促進をしている。矛盾。

A 受験や就職などで首都圏へ向かう人を応援するために助成は継続する。

Q 国民健康保険税の基金残高が、過去最高の3億6000万円になった。この余ったお金は市民が負担したものだからお返しすべき。

A 団塊世代の多くが後期高齢者医療に移行になり、その分、国保加入者が減るので、今後は国保税収も減る。よってある程度の基金は必要で、引き下げについては今後の推移を見て検討したい。

Q 施政方針で「生活を守る除排雪の推進」と述べたが、具体的には。

A これまで以上に臨機応変にきめ細かい除排雪に努める。



建設課による除排雪作業

新創会



佐藤 文信



QRコード

普通交付税は

増額を計上

Q 人口減少による普通交付税の減少が見込まれる中で、市の財政健全化が課題となっているが、増額計上された理由と留保財源は幾らなのか。

A 普通交付税額は、令和3年度当初予算額に地方財政計画の伸び率を乗じたものを基本として積算したものを計上。留保財源は2億円。

Q 北秋田市地域公共交通計画を策定する時に、内陸線との関わりについても議論されたか。

A この計画は、北秋田市地域公共交通活性化協議会が策定しており、利便性を高め利用者数の増加を図る必要があることから、秋田内陸活性化本部からも職員が委員として出席している。
Q 新型コロナウイルス感染症

対応地域創生臨時交付金が約2億円、令和4年度に繰り越されたが、その活用施策は。

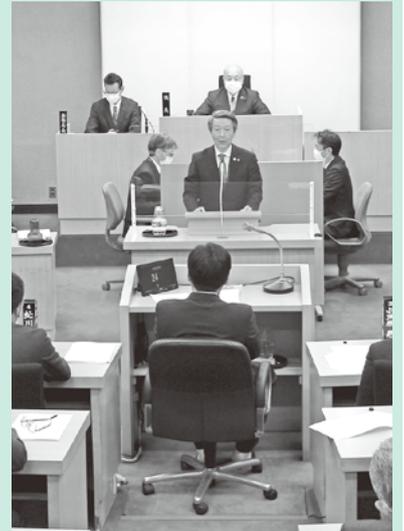
A 国に繰越希望として計画を提出しており、活用策としては大館能代空港の複便化の回復、3便化に向けた利用促進、秋田内陸線の利用促進と安全対策への充当。また、苦境に陥った市民や事業者の支援や消費喚起につながる施策などに活用したい。



交付金、大館能代空港3便化にも活用

Q オミクロン株の急拡大に対するマニュアルはあるか。

A 新型コロナウイルス等対策行動計画に基づき、新型コロナウイルス感染症対策編を策定している。



活かそう市民の声
市政を問う!

一般質問

一般質問は、2月14日・15日の2日間で行われ、7人の議員が登壇しました。

板垣 淳議員 (P10)

- ◆道の駅たかのすについて
- ◆森吉山荘の休止について
- ◆パートナーシップ制度について
- ◆学校統合計画について

三浦 倫美議員 (P10)

- ◆市民病院の医療サービスの向上を



QRコード 動画へ



QRコード 動画へ



森吉山荘つぶすな!

板垣 淳
(日本共産党議員団)

Q 市は、森吉山荘休止を表明したが、奥森吉の観光拠点なので継続を。

A 2年続けて指定管理者の応募がなく、施設は老朽化、温泉の湯量も減少した。運営継続は困難。

Q 設備が古く湯も少ししか出ないがやりたい人いませんか?と募集したっている訳ない。修繕してから再募集すべき。

A 多額かかる。

Q いくら?。

A 約1億円。

Q 道の駅たかのす改築のわずか14分の1だ。

A 新年度の施政方針で市長は「森吉山を中心とした滞留型観光を推進します」と表明した。言うこととやるのが真逆だ。

A 4月から休館し、そ

の後に民間譲渡を含め施設運営について検討したい。



4月から休止が決まった森吉山荘

Q 道の駅たかのす改修費用14億円は、ほかの道の駅と比べても高すぎる。

A ほかとの比較は適当でない。

Q パートナーシップ制度導入を。

A 秋田県も導入することにしており、連携して進める。

Q 森吉2小学校を統合するののか。

A 3月に保護者や住民に説明する。



市民病院の医療サービス向上を

三浦 倫美
(日本共産党議員団)

Q 耳が聞こえづらい方から「診察室への呼び出しが、聞き間違えたり、気づかなかつたり、いつ呼び出されるかと神経を集中させて、待ち続けていなければならず、今一番の苦しみである。分かりやすい方策を工夫してもらえないか」との要望が寄せられている。改善策について、市民病院と協議できないか。

A 利用者へのサービス向上のため、院内に接遇委員会を設置し、研修会の開催や挨拶運動の実施など、接遇力の向上に努めている。指定管理者との運営連絡協議会でも、市民病院に対する要望等や利用者満足度アンケート調査の結果について情報共有を図り、改善に取り組んでいる。ご指摘

の「診察室への呼び出し」についても、市民病院に伝えながら改善策を協議していく。

Q 要望等は早期改善をお願いする。また、今回の件の協議時期は。

A 市民病院入口にある投書箱に寄せられる苦情や要望等にも速やかに改善策を取っており、要望等も令和元年度は35件あったが、令和3年度は7件と激減した。連絡協議会は5月と12月の年2回だが、5月まで間があるので開催を待たずに協議したい。



接遇力向上に努力していく

佐藤 重光 議員 (P11)

- ◆ 農業振興について
- ◆ 伊勢堂代遺跡の観光誘致について



佐藤 光子 議員 (P11)

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策について
- ◆ 北秋田市公共施設等総合管理計画について
- ◆ 社会教育・生涯学習について



福岡 由巳 議員 (P12)

- ◆ 新型コロナウイルス感染症について
- ◆ 豪雪対策について
- ◆ 「非核・平和都市宣言のまち」について
- ◆ 「きらり☆きたあきた」について



虹川 敬議員 (P12)

- ◆ 福祉の雪事業について
- ◆ 除排雪について
- ◆ 元町跨線橋について
- ◆ ふるさと納税について



久留嶋 範子 議員 (P12)

- ◆ 大雪対策について
- ◆ 地域の宝、方言の活用について



耕作放棄地増加懸念

佐藤 重光 (新創会)

Q 国の水田活用の直接支払交付金が見直され、今後5年間で一度も水張りが行われていない農地は、交付対象外になる。作業効率の悪い中山間地などでは採算に見合わない農地が相次ぎ、耕作放棄地が増えると思うが、市の考えは。

A 今回の見直しの趣旨は、現行ルールを厳格化していく中で「今後5年間に各地域において、産地形成をどのように図っていくのかを検討し、その中で明らかになった現場の課題を国が令和4年度以降、毎年度把握、検証しつつ対応していく」とのことなので、情報や動向を注視していく必要があると考えている。

Q 農業経営改善計画の認定要件は。

A 要件は3つあり、このうち「計画が市の基本構想に照らして適正なものであること」を判断するための基準として、当市では「①耕作に供すべき農用地の全てを効率的に利用し、耕作を行うこと」、「②農業によって自立しようとする意欲と能力を有すること」、「③主たる農業従事者1人当たり年間所得400万円程度かつ目標労働時間が2000時間程度であること」を認定の審査基準に考えている。



コロナ禍の業務継続計画は

佐藤 光子 (みらい)

Q 平成28年3月に策定された業務継続計画は新型コロナウイルス感染症に対応しているか。

A 市民生活への影響を最小限に止めるため、計画の見直しを行う。

Q 市内の事業者へ、自然災害や新型コロナウイルス等の緊急事態に備えてBCP等の策定の支援を。

A 研修や策定セミナー、個別支援など商工会と連携して取り組む。

Q コロナ禍で影響を受けている事業者への今後の経済支援策は。

A 緊急的にスピード感を持って実施する。

Q コロナ禍での少子化対策は。

A コロナ禍で制限がある中でも、新しい生活様式を踏まえつつ、出会いから出産・子育てまで手厚い支援で前進するよう取り組む。



空き校舎の活用を



福祉の雪事業助成金
増額を「検討する」

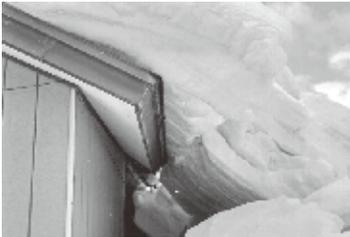
福岡 由巳
(無党派)

Q 毎年、高齢者だけの世帯等では除排雪を自力で行えず、業者に依頼する人が多く支出がかさんでいる。よって、早急に福祉の雪事業1世帯当たりの予算を増額すべきでないか。

A 利用限度額の引き上げについて検討する。

Q 県は地域住民を主体として高齢者世帯等の除排雪活動に取り組み団体を支援するとしてその設立に要する経費に対して補助金を交付している。市も連携してこのような団体を支援すべきでないか。

A 当市としても共助による除排雪活動は重要と考えているので、雪対策の充実に向けて団体設立を県と連携しながら支援していきたい。



今季家屋の雪害が目立った

感じる。このようなとき市が掲げる「非核・平和都市宣言のまち」の役割は平和を守る意味からも重要であり、もっと積極的に取り組むべきと考えるが、今後の計画はいかがか。

A 戦後76年が経ち、悲惨な戦争の記憶が薄れていくなか後世に記憶を継承することが必要と考える。今後も世界恒久平和実現の一端を担うべく平和を守り、次世代へ語り継ぐ取り組みに積極的に関わっていく。



福祉の雪事業・
除排雪について

虹川 敬
(新創会)

Q 福祉の雪事業において今年度のように雪の多い年には雪寄せの依頼に追いつかない状態であるから登録業者以外の業者や個人が作業しても補助金が適用できるように基準を見直してはどうか。

A 未登録の業者や個人が福祉の雪の事業者として申請すればすぐに登録業者となれる状態である。

Q 除雪等で道路に堆積した雪を道路脇の農地・私有地へ寄せた際に土地所有者へ謝礼金を考えてはどうか。また、道路の排雪を私有地へ放置した際には雪解け時に土地の清掃等をすべきではないか。



今年は大雪との格闘

雪の量の基準の明確な判断が困難なため謝礼金の実施は考えないが雪解け後の清掃は所有者の意向に沿って原状回復に努める。

Q 流雪溝の必要箇所を徹底調査し、整備の計画をしてはどうか。

A 水源や流雪側溝の勾配も確保されていないほか、河川へ放流する際の流末処理の整備が必要であり困難である。集落の小路等への整備に関しても車両幅員確保の課題があるため計画策定の予定はない。

Q 高齢者や一人世帯への支援、市民からの要望・苦情への対応は。

A 県実施の「地域除排雪団体担い手育成事業」で2団体が設立。県と連携しながらサポートし、福祉の雪事業を中心に活動支援していく。市民からの要望・苦情については、電話や窓口等で内容の聞き取りや必要に応じて現場確認を行っている。

Q 積雪により、倒壊などの危険家屋の実態と対策はどうか。

A 市内には管理不十分となっている空き家が80件、うち倒壊により周辺への危険性がある空き家が46件あり、所有者に対しては、適正な管理を促している。危険性のある空き家については、特定空き家等の認定による解体の



大雪による除排雪
対策は十分か

久留嶋 範子
(日本共産党議員団)



積雪により倒壊した家屋

ほか、相談対応や助言も行っている。

Q 通学路の安全確保は。

A スクールバス乗降場所の適時変更など、随時対応している。

Q 方言を地域の宝として観光の場面で活用すべき。また、子どもたちに文化として語り継ぐべきではないか。

A 方言を活用した情報発信のほか、令和2年度からは「北秋田市方言記録事業」も行っている。今後も観光プロモーションとして、積極的に活用していく。

第1回臨時会

令和3年度 一般会計予算

7億7189万4000円を追加



第1回臨時会が1月21日に開かれ、上程された予算案1件、報告1件を審議した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

◆令和3年度一般会計補正予算

今臨時会に上程された一般会計補正予算は、7億7,189万4000円を追加するもので、総額は256億9,410万1000円となりました。



◆報告第1号 専決処分の報告

公用車の運転事故について相手方と和解をし、損害賠償の額を定めることについて

昨年8月のスクールバスの接触事故に関わる損害賠償の額を報告。

【補正予算の主な事業】

○水稲種子購入助成事業費 55,680千円

米の需要が大きく減退していることから、生産者の負担軽減を図るため、令和4年度水稲種子購入費の一部を助成するもの。

○スマート農業応援事業 18,000千円

強い生産基盤の構築のため、機械導入経費等の一部を支援するもの。

○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 565,577千円

コロナ禍において、困難に直面した方々の暮らしを支援するため、住民税非課税世帯等に対して10万円を支給するもの。

○子育て世帯等臨時特別支援事業 132,637千円

子育て世帯に対して、先行給付5万円に続き、追加分として5万円を給付するほか、所得制限により国の基準外となった方に市独自で10万円を給付するもの。

第1回 全員協議会

第1回全員協議会が1月21日に開かれ、当局から提案された3案件について協議をしました。

それぞれ当局からの説明のあとには質疑応答を行うなどし、事業について理解を深めました。

1. 森吉・合川統合分署建設事業

〔主な内容〕旧合川東小学校跡地に建設を予定しており、庁舎等が3階建て、訓練棟が5階建てで、女性消防吏員の採用にも配慮して、専用の更衣室、トイレ、仮眠室などの設置も計画されています。

令和5年秋の運用開始を目指して事業が進められており、総事業費は7億1000万円。

2. 北秋田市民健康保険税の一部改正

〔主な内容〕医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の全体での所得割を0.1%、均等割と平等割をそれぞれ1000円減額するもの。

3. 福祉医療制度の見直し

〔主な内容〕これまで高校生の自己負担額は、1レセプト当たり上限500円でしたが、これを中学生以下と同様に『自己負担なし』とするもの。

市議会へご意見をお寄せください

市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています。

- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。

- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号
北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

